

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎(752)0453 小林えみ子 ☎(482)5451

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5
☎(483) 1151

秋葉市長は消費税増税に賛成なのか！

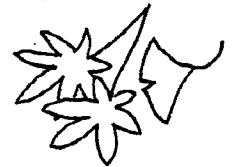
11月議会の代表質問で、消費税の10%の引き上げに対する市長の見解を質問しました。消費税が8%に増税された4月以降、日本経済は大変な危機に落ち込んでいます。4月から6月の国民総生産は年率マイナス7、1%の落ち込みとなりました。特に、家計消費はマイナス19、5%と戦後最大の落ち込みとなりました。

こうした、経済の落ち込みを更に深刻にさせる更なる増税は、様々な世論調査でも反対の声が7割にも上っています。

そこで市民生活を守るために、市長として国に増税反対の声を上げるよう求めましたが、「消費税は国民が広く負担するものであり、国において1千兆円を超える債務があり、地方も同様に大きな債務があり、子育て支援を含む社会福祉の財源となることから、国の動向を注視する」と増税反対の答弁はありませんでした。

国民の声に押され、増税は延期！総選挙へ

安倍首相は、当初12月上旬に10%への増税を実施するか決める方針でしたが、増税を強行すれば国民経済への破壊的影響と国民の怒りは必死です。そこで、増税の延期と引きかえに国会を解散、12月2日公示、14日投票で総選挙を予定しています。



この安倍首相の突然の解散総選挙は、消費税増税に対する国民の怒りだけでなく、秘密保護法の制定、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定、原発再稼働、沖縄普天間基地の名護市辺野古沖への移転など、国民の声に耳を傾けない安倍自公政権の暴走政治に対し、国民の怒りと不満が安倍首相を追い詰めた結果ではないでしょうか。

消費税増税なしで財政再建を

消費税は、収入の少ない人ほど負担率が高い、不公平税制です。今こそ「先送りを実施」ではなく、きっぱり中止させる・・・総選挙は絶好の機会です。

日本共産党は、消費税に頼らない「別の道」を提案しています。

1、富裕層と大企業に応分の負担を求める税制改革

家計でも、中小企業でも、負担能力を超えた負担を押しつけられたら、深刻な打撃をこうむります。しかし、富裕層や大企業は、税制で優遇され、負担能力は十分にあります。

2、内部留保の活用で国民の所得を増やす経済改革

これまでに積み上がった大企業の内部留保は285兆円。この1年で13兆円も増えました。ほんの一部を使うだけで、大幅な賃上げは可能です。